

4 be動詞 (is)

「彼[彼女/それ]は～です」の文

すでに話題になった人やものについていうとき、男性は**He is ～.**、女性は**She is ～.**、ものは**It is ～.**で表します。isは、amやareと同じように、「彼[彼女/それ]」と「～」をイコールで結ぶ働きをする動詞です。

主語	動詞	なに/だれ	どこ	いつ
He[She] (彼[彼女]は)	is	a musician. (音楽家)		
		tired. (つかれた)	「～にいる」という意味になります。	
			at home. (家に)	
It (それは)	is	a museum. (美術館)	「～にある」という意味になります。	
			on the desk. (机の上に)	

「こちら[これ]/あちら[あれ]は～です」の文

人やものについていうとき、その人やものが近ければ**This is ～.**、遠ければ**That is ～.**で表します。

主語	動詞	なに/だれ	どこ	いつ
This (こちら[これ]は) That (あちら[あれ]は)	is	Ken. (ケン)		
		a school. (学校)		
		new. (新しい)		

be動詞

am、is、areは**be動詞**といい、「主語 + be動詞 + ～.」の形で「(主語は)～です/～にいます/～にあります」という意味を表します。このとき、Iは**am**、youは**are**、he[she / it / this / that]は**is**と、主語によって使うbe動詞は決まっています。

短縮形

he isは**he's**、she isは**she's**、it isは**it's**、that isは**that's**と、それぞれ短縮した形で使うこともできます。this isの短縮形はありません。

「なに／だれ」でよく使うことば

nurse (看護師) musician (音楽家) farmer (農場主) baker (パン焼き職人)

active (活動的な) popular (人気がある) strong (強い) tired (つかれた)

young (若い) new (新しい) beautiful (美しい) small (小さい)

bank (銀行) hospital (病院) station (駅)

restaurant (レストラン) museum (美術館)

school (学校) bookstore (書店)

「どこ」でよく使うことば

at home (家で[に]) at school (学校で[に])

on the chair (いすの上で[に]) on the desk (机の上で[に])

in the classroom (教室の中で[に]) in the library (図書館の中で[に])

確認しよう

「なに／だれ」、「どこ」の部分にあてはまることばを上語群から選び、日本文の意味に合う英文を完成させましょう。

(1) 彼は看護師です。

主語	動詞	なに／だれ
He	is	a

(2) それはいすの上にあります。

主語	動詞	どこ
It	is	

(3) これは銀行です。

主語	動詞	なに／だれ
This	is	a

(4) あれは人気があります。

主語	動詞	なに／だれ
That	is	

3 次の英文を、[]の指示にしたがって書きかえましょう。また、書きかえた英文の意味を日本語で書きましょう。

(1) I am a farmer. [IをHeに変える]

主語	動詞	なに／だれ

意味 _____

(2) You are strong. [YouをSheに変える]

主語	動詞	なに／だれ

意味 _____

(3) That's a station. [That'sを短縮しない形に変える]

主語	動詞	なに／だれ

意味 _____

4 次の日本語の意味になるように英文を書きましょう。

(1) 彼はパン焼き職人(a baker)です。

(2) 彼女は活動的(active)です。

(3) それは図書館の中に(in the library)あります。

(4) あれは美しい(beautiful)です。
